絵：長野ヒデ子

司書のすすめる本シリーズ⑮

これな本が図書館にあるよ～

子ども向けの本

『ゆっくりくまさん』

森比左志/さく　西巻茅子/え
福音館書店　2006年

６年前の話。たしか、センター北にある本屋さんで４歳の娘と「どの絵本を買うか？」でケンカをしたことがある。当時娘に絵本を選んでいて「これがいい」と言われたことが初めてだったので、今でもよく憶えている。娘が欲しかったのが、絵本『ゆっくりくまさん』。

のんびりやのくまさんが、木の実を探して歩くのだが、他の動物たちに先を越されて食べられない。それでも、歌いながら、ゆっくりゆっくり歩いていく。マイペースでのんびりしている娘は、絵本の中で、くまさんと「ゆっくりゆっくり」いっしょに歩いて、おいしいものを探したのだろう。その本屋さんで少し読んだだけで「これじゃなくちゃイヤダ」と言って、曲げなかった。今は4年生になって忙しい毎日を過ごしているが、放っておくとやっぱり「ゆっくりゆっくり」マイペース。この絵本を買ったときのことはさっぱり憶えていないだろうが、ついこの間、弟と私にこの本を読んで聞かせてくれた。彼女なりにゆっくりゆっくり成長している。

ちなみに6年前、私が買いたかったのは『トマトさん』（田中清代/さく　福音館書店）。その時結局どうしたか？･･･選べなくて２冊とも買って今でも家の本棚に並んでいる。（小山亜紀子）

大人向けの本

「本」ではなく「本棚」の本

クラフト・エヴィング商會/著
朝日新聞出版　2011年

今回ご紹介する『**おかしな本棚**』は、ちょっと風変わりな図書の紹介の本です。著者は今までも架空の職業人を紹介する本（『じつは、わたくしこういうものです』）や未来の出版物の古書目録（『らくだこぶ書房２１世紀古書目録』）など一風変わった本を出している方々なのですが、この本も遊び心いっぱいのユニークなつくりになっています。

図書の紹介と書きましたが、この本に載っている図書について分かることは、タイトルと著者と出版社ぐらいです。内容やあらすじについてはほとんど触れられていません。本の写真もほぼ背表紙だけ。なぜならこれは「本棚の本」だから。そして買ったけれども読んでいない本も多々登場します。冒頭から「読まない楽しみ」について熱く語られていたりするので、司書としてはやや複雑な気分になったりしますが、なにせ本への（本棚への？）愛情があふれて止まらないのが伝わってきます。読んでいくうちに自分の本棚の本が愛おしくなってくること間違いなし。もうすぐ読書の秋、図書館の本棚の本たちも愛でていただければ幸いです。（谷脇静香）

ファン倶楽部の ･･･私たちのおすすめ本･･･

『東出雲発！学校図書館改革の軌跡 身近な図書館から図書館活用教育へ』

原田由紀子著　　国土社

ここ１０年で一躍学校図書館の先進地域に躍り出た島根県旧東出雲町がどのようにその奇跡を成し遂げたのかを具体的に詳しく報告した本書は、学校図書館支援センターの一つのモデルを示すとともに、親子読書に関心のあった著者が、町立図書館の司書から支援センタースタッフとなり、さまざまな人をコーディネートしてシステムを作り上げた奮闘記ともなっている。子どもの読書と学びに関心のある人がパワーをもらえる必見の書。（紀久子）

『小学校での読み聞かせガイドブック』

出版　プランニング遊

小学校での朝の読書時間でのおはなし会での本に迷った事はありませんか？この本は、各学年にわけて、カラーで本を紹介しています。読み聞かせにかかる時間の目安もあり、とても参考になります　（三田）

『からくりインターネット―アレクサンドリア図書館から次世代ウェブ技術まで』

相澤彰子他･著　丸善

無料で日本の学術論文を検索するデータベース「CiNii」の開発などで知られる国立情報学研究所（NII）の研究者たちが、インターネット検索についてわかりやすく解説しています。検索するには「ことば」が必要。でも、コンピュータにはその意味が分からない。自然なことばを使ってコンピュータに検索させるにはどんな工夫があるのか。ふだん何気なく使っている検索サイトのからくりも披露され、知的好奇心が刺激される情報学の入門書です。（溝井）

読むだけですぐ身につく！『「聞く力」の育て方』

志田唯史著　響田隆史監修　静山社文庫

「聞く」とは、黙ってうなづくだけの受け身な行為ではなく、相手に話をさせ、そこからいろいろなものを引き出して行くポジティブな行為である。その「聞く力」をどうやってつけていくか様々なシーンでの実践例を挙げて説明して、よくわかるビジネスマン向けの１冊。「聞く」は忍耐だとも書いてあり、応用はビジネスシーンだけではなく幅広いので誰が読んでも楽しめる一面も。（吉村）

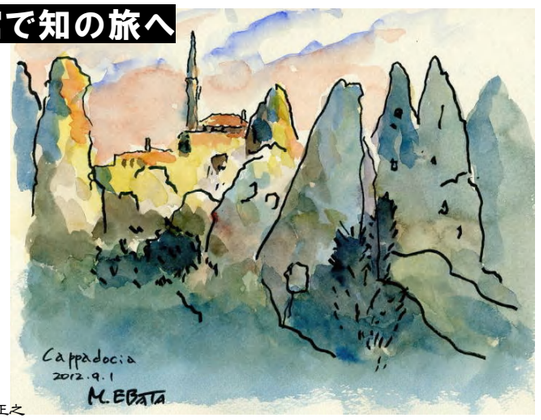
つづき図書館ファン倶楽部主催

県立図書館見学会のご案内

よくばって、２館とも見学します！

＜見学先＞神奈川県立（紅葉ケ丘、川崎）図書館
＜日　　時＞2012年10月23日（火）10時～15時　　＜定　　員＞　15名（先着順）
10:00　JR川崎駅改札口近くの時計塔前集合　＜参加費＞　200円（見学先への手みやげ代など）
10:15～11:45　川崎図書館見学　　昼食・移動　＜参加申し込み＞　若杉　隆志
13:15～15:00　県立図書館（紅葉ケ丘）見学　TEL:932-8879　携帯:080-6739-1139　e-mail:twaka@m5.gyao.ne.jp

図書館で知の旅へ



画:江幡正之

つづき図書館ファン倶楽部通信 vol.37

2012年・秋号
■特集:「じじ・ばば世代から孫子たちへ」
■発行：つづき図書館ファン倶楽部
■住所:〒224－0032
横浜市都筑区茅ヶ崎中央33-1 都筑郵便局留
■電話:TEL・FAX045-532-9903(福富方)
■ http://tsuzuki.libraryfun.net/
■年会費:一口1,000円
■定例会：毎月一回

ファン倶楽部マスコット
TANUKI
絵:廣井美知子

■つづき図書館ファン倶楽部は
2000年３月都筑区制５周年記念として都筑図書館が「シンポジウム」を開催。参加した区民サポーター有志で図書館の価値を広める目的で結成しました。

図書館は心のオアシス

本の記憶

都筑区ＰＴＡ連絡協議会会長
川和中学校ＰＴＡ会長
市川　匡

今回、このつづき図書館ファン倶楽部の原稿依頼が来た時には、本当に困りました。

実は、図書館に関するエピソード、本の思い出がない・・・マンガはよく読んでましたが（笑）。図書館もどちらかと言うと遠い感じでしたし、夏休みの課題になる読書感想文は、さわりの部分とあとがきなんかを参考に書いたタイプで、お恥ずかしい話です。

でも、本についての記憶の中では、特に絵本の記憶と言うのは今でも残っています。楽しかった絵本、怖かった絵本、何度も何度も読み返してぼろぼろになった絵本、今でも実家に帰ると本棚に大事にとってくれています。自分の娘や息子達はもう大きくなってしまっていますが小さい時には同じ絵本を読んで聞かせたりしていました。その頃の絵本は今でも図書館、書店で見ることが出来ます。

親から私に、そして子供たちへ。時代は変わっても読んで聞かせる事が出来る本をこれからも大事にしていきたいですね。

都筑図書館より 行事のお知らせ

都筑図書館　〒224-0032市内都筑区茅ケ崎中央32-1
TEL:948-2424・FAX948-2432

○資料展示　「知ることから始めよう　認知症」
日時　9月20日（木）～10月2日（火）
会場　図書館内

○郷土資料パネル展示　「空から見る都筑区」
図書館所蔵の航空写真の一部を展示します。都筑区の変遷を空から眺めてみましょう。
日時：10月12日（金）～10月31日（水）
会場：図書館内

○「丘のヨコハマ今昔往来」
図書館ホームページで公開中の写真アーカイブ「丘のヨコハマ写真館」の中から,鉄道･道路･舟の写真をパネルにして展示。
日時：11月1日（木）～11月8日（日）
会場：都筑区役所１階区民ホール

○あなたの本への思いを栞にします。
みなさんの好きな本への思いを栞にして,後日,館内で配布します。都筑図書館にある所定の用紙に記入してお持ちください。
募集期間／10月17日（水）～11月18日（日）
＊栞の配布は11月下旬以降（予定）
詳細は、都筑図書館にある記入用紙をご確認ください。

○「本の読み聞かせボランティアステップアップ講座」
都筑、緑、港北、山内図書館４館合同の講座です。
絵本の選び方やプログラムの作り方を学びます。
日時:11月29日(木)午前10時～12時
会場:都筑区役所3 階税会議室
対象:都筑,緑,港北,青葉区内の小中学生を対象に読み聞かせ等の活動を２年以上経験している人
定員:先着30人申込／11月８日(木) 午前9時30分～

○特別おはなし会　「はまっ子読書の日おはなし会」
本の好きなはまっ子、集まれ～！本に親しめる一日です。
日時・対象／11月2日(木)（各回30分程度です）
①午前10時～ (0・1歳児と保護者)②午前11時～(未就学児と保護者)
③午後3時30分～（4歳～小学生）
※③の回に保護者の参加をご希望の場合はお問い合わせを。
定員／①先着12組　②先着30人　③先着20人
申込／10月12日(金) 午前9時30分～
都筑図書館カウンターまたは電話で本人またはご家族からのみ。
出演／①エステ・キッズひまわり文庫　②つづきっこ読書応援団
①おはなしのこみち　　**協力**／つづきっこ読書応援団

○定例おはなし会
日程:10月17日(水),11月21日(水),12月19日（水)、1月16日（水)
時間：15：30～16：00
会場：都筑図書館　対面朗読室
対象：ひとりでおはなしをきける子　申込：不要です。直接会場へ

○「くまさんのおはなし会」
日時:10/17（木）,11/8（木）,12/13（木）※1月はお休み
各日①10:00～10:25②10:45～11:10＊①、②は同プログラム
会場：都筑図書館　対面朗読室
内容：保護者の方と乳幼児が一緒に楽しめるおはなし会です。
対象：2、3歳児および保護者　各回先着10組
申込方法：10/17（木）開催分は9/27（金）から
11/8(木)は10/25（木)から12/13(木)は11/29(木)
●9:30より受付開始。カウンターまたは電話で申込みを。

○展示テーマ
児 童 書：10月「完　全読破　名探偵編」(仮題)
ティーンズ:10月「未来を切りひらく」　11月「おいしいもの大好き！」
一 般 書　：10月「戦争と文学」(仮題)

○　施設点検による休館日：
10/9（火）、11/19（月）、12/25（月）、1/15（火）
○都筑区庁舎電気設備点検による休館日10/14(日)
○年末年始休館日：12/29(土)～1/3(木)
○システム移行に伴う臨時休館：1/4(金)　～1/10（木）

特集 読書の秋

都筑区内で、子どもの読書やその環境づくりに関わっている方に寄稿をお願いしました。

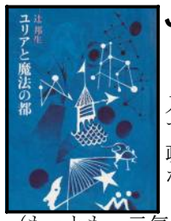
じじ・ばば世代から まご・こ に おくりたい本 つたえたい心

ばあばのお気に入り本は・・。

エステキッズひまわり文庫 洪 順仙

私のばあばとしてのお気に入りがあります。『サナのあかいセーター』（なりたまさこ作・絵/ポプラ社）です。実は２番目の孫の名前が「紗奈」、そして絵も似ているのです。

おばあちゃんが編んでくれたセーターは小さ過ぎて伸ばしたり、縮めたり、ほどいたり。どうしても着たいというサナちゃんの奮闘振りと、おばあちゃんの深い包容力にすっかり魅了されている私です。サナちゃんシリーズは3冊くらい出版されています。もう一冊は小学生対象**「子どもに聞かせる世界の民話」**（編者矢崎源九郎/実業之日本社）。この本には81のちがった国、ちがう民族のお話が編集されています。子どもたちはもちろんJiJi・BaBaそして、お母さんたちが子どもと一緒に楽しんで読んでくだされば と思います。この本の中表紙には世界地図があり地図上に目次のナンバーが示されています。また、目次の下には読む時間の目安が表示されているのです。なので、どこから読んでもOK。どのおはなしも楽しく、面白く、出会ってよかったと思えるお薦めの一冊です。



JiJi・BaBaの力をふたたび

北山田地区センター館長　櫻井　茂

団塊の世代がいわゆる高齢者世代に突入した今、もう一度みずからが生きる場である「家族・地域」から社会・経済・政治・国際を見直す時が来ている。こんな思いが北山田地区センターで『ＪｉＪｉ・BaBa絵本塾』を開催したきっかけだ。（もっとも、元気なＴＤＯのオバサマ達の呼びかけがあったからこそ実現した。）

自分の孫子に読み聞かせ、地域の孫子にも波及できたら・・・。そんJiJi・BaBaが地域にあふれたら、きっと新しい、楽しいことが始まりそうだ。

さて、40年前ぐらいに読んだ**「ユリアと魔法の都」**が記憶に残る児童書だ。辻邦夫氏の作品で筑摩書房から出されている。魔法の都では何もかもが逆さまの社会。初めは理想郷かなと思ったユリア。でも、冒険していくとそこは強力な管理社会、、、というものがたり。

ものがたりを選ぶポイントは、人をみる目、社会をみる目、自然をみる目など様々な角度からモノゴトを捉えることができ、自分で考え・進むべき道が発見できるヒントが隠されていることが大切と考える。

そんな絵本やものがたりを読み聞かせられたら、とても素敵です。

空想を広げたナルニアの世界

都筑図書館館長　黒須　正明

イギリスの代表的ファンタジー**「ナルニア国物語」**はイギリスのケンブリッジ大学の学者だったＣ・Ｓ・ルイスが50歳を過ぎてから書いた７冊のお話シリーズです。

代表作**「ライオンと魔女」**では、かくれんぼ遊びで古い洋服ダンスに入り込んだ子どもたちが、いつのまにか雪の降る冬の森に迷い込みます。そこにはなぜか一本の街灯がぽつんと明かりをともしていて、やぎと人間のいりまじったフォーンのタムナスさんと出会います。そこはナルニアという不思議な世界でした。そして偉大なライオンのアスランとともに、ナルニアを氷の世界に変えた「白い魔女」とのたたかいが始まります。

「朝びらき丸　東の海へ」では子どもたちが部屋にかざられた帆船の絵を見ていると、画の中の海が動き出し、波に飲み込まれてナルニアの海の世界に入ります。そして若くて素敵なカスピアン王子と一緒に7人の貴族を捜す大航海の旅にでます。

私自身も小学校4年にこの物語に出会い、夜、ふとんに入ると「自分のナルニア物語」の世界に入り込み、勝手に主人公になっていました。

「じいばあ世代」に近づいたおじさんの作者が、子どもたちをわくわくどきどきの夢の世界に引きずり込むストーリーを描けたのはどうしてでしょう。物語の背景にあるキリスト世界に詳しかったから？読書家としての豊かな知識があったから？かもしれません。

絵本、やがて自分を支える力

JiJi・BaBa絵本塾受講生　福井つや子

私は親から絵本を読んでもらった記憶がありません。でも、毎晩、祖母の布団の中で昔話を聞くのが大好きでした。野良仕事で疲れて眠ってしまう祖母をゆさぶりながら、話の続きをせがんだものでした。

私の絵本との出会いは、大人になってからです。「これだ」と思える絵本にであった時は、自分の中にある「ふるさと」へと続いている、深くて穏やかな、静かな時間の流れの中に身を置く幸せを知りました。

私は市立保育園の時間外で、毎日小さな子どもたちと遊んでいます。子どもたちは、唄や絵本がだいすきです。絵本を読むとき、抱っこのぬくもりと、大人の声に包まれて、ワクワクドキドキと、おもしろい時にはクスリと笑いながら、物語を一緒に歩いていきます。絵本のその先にある、目には見えない世界へとつながっていると感じます。

その時の絵本を通して感じるもの、目に見えないものを想像する力が、いつかどこかで、自分を支えてくれる源になるのだと思います。

さて、私が買った初めての絵本は**「セロひきのゴーシュ」**。宮澤賢治の作品ですが、私は茂田井武の絵にやられました。

どうぞ、あなたも自分の好きな絵本を手に取り、お子さん、お孫さんに読んであげてください。きっとそこには穏やかでゆるぎない時間が流れていて、心と心をつないでくれるでしょう。

このごろの・・・・ 都筑図書館 ⑰

使って楽しむ「未来の図書館」を都筑から

都筑図書館とファン倶楽部さんとで、平成21年５月から「市民と図書館との協働を進める会」（仮称）として情報交換および各種の意見交換会を毎月１回程度のペースで行ってきました。そこで得られた情報や、資料、意見などを参考にして、これまでに講演会、街歩きなどの企画事業、郷土資料の展示や、開館１５周年事業などが行われてきました。最近では「つづきっこ読書応援団（＝ＴＤＯ：つどおう）」さんもメンバーに加わって、さらに協働の範囲が広がりました。つどおうさんによる特別おはなし会もすっかり定着しつつあります。

そして今年度はさらに範囲を広げ、区民の皆さんと一緒に会の正式発足に向けて話し合いを進めています。

つづきアーカイブクラブ、つづき交流ステーションさんなどに声をお掛けして行われた８月30日（木）の準備会では、参加者それぞれがイメージする図書館の役割や、やってみたいことなどについてｋＪ法の手法を用いてフリーディスカッションを行いました。上がってきたたくさんの意見をグループ化し、それぞれにスローガンを付けてまとめていきました。その中から３つのスローガン「未来の図書館を都筑から」「もっと図書館を楽しもう」「使って☆図書館」が出てきました。

まとめていく中で次のような意見が出ました。

・都筑図書館のことが知られていない。情報発信が少ない。ならば、図書館のＰＲをもっと協働でやっていこう！

・図書館が地域活動の場、発表の場になれば、地域も図書館も共に発展する。また、それにより資料の充実にもつながる。

・未来志向の活動をしていこう。

・ソファーで寝ている人を活動に引き込もう。

・図書館とは静かに本を読む場所でいいのか議論してみたい。

これからも毎月１回程度のペースで「都筑図書館から未来を描く協働の会（仮称）」を行っていく予定です。協働することで、いろいろな可能性が広がり、より身近で使いやすい都筑図書館になることを期待しています。（笠原　利恵）

ハマっ子に 学校図書館のチカラを！

～市内各地での「横浜の学校図書館を考えるつどい」を終えて～

５月19日の北部集会（通信Vol.36特集を参照）を皮切りに、連続集会「横浜の学校図書館を考えるつどい　ハマっ子に学校図書館のチカラを！」が無事終了しました。

６月９日の南部集会では、千葉大学教育学部附属中学校司書教諭の渡邊光輝さんによる実践報告「学校図書館『再生』はじめの一歩」。

７月７日の東部学習会では青山学院女子短期大学教授の堀川照代さんによる基調講演「学びが広がる学校図書館」、東京学芸大学附属世田谷小学校司書吉岡裕子さんによる実践報告「協働する学校図書館～子どもたちの読む、書くをサポートします」。

９月８日の西部集会では市川市立富美浜小学校司書の高桑弥須子さんによる実践報告「学校生活を支える学校図書館～おはなしを核として～」。

また南部、西部ではそれぞれの地域の学校でボランティアとして活動している市民の報告もあり、とても充実した内容の集会でした。

のべ参加人数は217名。多くの市民が参加し、毎回議員の参加も。アンケートでは、学校図書館のことがよくわかった、学校司書は絶対必要との意見がたくさん寄せられました。また、北部、南部、西部集会ではアピール文が拍手をもって採択され、報告書とともに教育委員会に提出されました（東部は報告書のみ、西部は近日中に提出の予定）。

９月11日の神奈川新聞で「市教育委員会が学校司書の配置を検討している」との記事が出、同日に行われた市会本会議で教育長も同様の発言をしました。今回の教育委員会の大英断を促す力に少しでもなれたでしょうか。実行委員会は、11 月 20 日～ 22 日、パシフィコ横浜で行われる図書館総合展のポスターセッションに参加します。（つどい実行委員会代表　伊藤紀久子）

つづきっこ読書応援団（TDO＝つどおう）は

「都筑区の子どもたちの読みたい気持ち・知りたい気持ちを高めるため、読書環境の改善を図る」という事を目的に、３つの部会に分かれて活動しています。

企画部会では、北山田地区センターに協力して「JiJi・BaBa絵本塾」と題し、50歳以上の方を対象にして絵本の魅力や読み聞かせの３回連続講座を行いました。その後、参加した方からの声もあがり、新しく活動するグループ「つづきっこjiji・BaBa隊」（仮称）が誕生しました。今回のように、色々な輪が広がることは、本当に良い事だと思っています。10月以降の活動の中には、10月13日に中川中コミュニティハウスで行われる「パパといっしょに子育て広場」での絵本の講座があります。50歳以上の方に続き、今度は、パパです。少し前だとおはなし会でも中々男性はいらっしゃらなかったのですが、今後は、どんどんつづきっこの読書に関わってくれると、確信しています。

勉強部会では、10月30日には、「学校図書ボラ元気塾」がパート２となり、読み聞かせ講習会を行います。そして、12月と2月には、わらべうたの講習会の冬と春バージョン（4回講座の予定）もあります。また、昨年のつづきMYプラザでの多言語（4カ国語）おはなし会の反響から、今年は、アフリカ語での読み聞かせの企画も出ています。

学校部会では、11月16日には、「第２回学校図書館ボランティア大交流会」を行います。ＴＤＯ（つどおう）は、去年スタートにもかかわらず、第２回という企画が出来る事が、とても嬉しいです。

11月2日には、都筑図書館はまっこ読書の日特別おはなし会にも参加します。

地域に根をはった活動が出来るようにこれからも、メンバーで力をあわせ、色々な人と協力しながら、つづきっこの読書応援をしていきたいと思います。（代表　三田律子）

つづき図書館ファン倶楽部メンバーのコノゴロno ココロ

■ フランクルの代表作「夜と霧」がNHK教育「100分で名著」で紹介されたので興味を持ち、横浜市立図書館で予約したがあいにく120人待ち。2週間経っても95番目。一体いつになったら読めるのやら。（溝）

■あのいっこく堂、「近くの区立図書館から借りた『だれでも出来る腹話術』を借りて毎日鏡の前で口の動きを研究した」そうなんだ、なんかいい話ですね。（わ）

■関東在住の高３の同級生と35年ぶりに集まった。しばし高校時代にタイムスリップ。屈託なく笑って夢のような一夜だった。中の一人は『「帝国」の映画監督坂根田鶴子』の著者。図書館で借りて読んでみた。今は全く違う題材に取り組んでいるとのこと。（紀）

■横浜市の学校図書館に学校司書を配置する、との嬉しいニュース。林市長、有難うございました。ただ、数校かけもちでは効果が現れないので専任に！　（福）

■本を読まずにいられない時期があった. 学生時代は, 外国文学をわけも分からず読んだ そのうち心理学の本も、詩や短歌の本も読んだ。その後は, 教育の本を読み, ハッピーエンドで終わる児童文学を読み, 今では, 目が痛くなるので, やさしい本を寝る前の安眠剤に数ページ. annie

■歯が痛くなって、虫歯か歯肉炎かと思って歯医者に行ったら、夜寝てる間に歯を食いしばっていることで筋肉が緊張し、歯の根に力がかかって炎症をおこして痛むのだと。 原因はストレス！お気楽人間の私が？！ひどくなるようなら夜マウスピース装着？！(吉)

■ 最近のスマートフォンは、話しかけると色々答えてくれる。「原稿を早く送らなきゃ。」と話しかけたら、銀行を調べてくれた。いつも微妙に間違うので役に立たないけど、おもしろい。（み）

■船橋で開催の長野ヒデ子原画展の12日間。 市内中の文庫が全面支援でそのサービスがすごい！連日お客のために、おはなし会、人形劇、ミニ絵本づくりコーナー、折紙タイコさんが泳ぐ海中大壁面・・・。えっ?横浜は学校図書館に司書はいないのって驚かれた。（江）

■市議会を傍聴に行ったら、議員の質問に応える林市長が男前でかっこよかった。その後参加のティーミーティングでは、ソフトで話しやすい方。学校図書館・学校司書の必要についてすごく勉強していらしてびっくりした。（仁）